



広報
ひだ



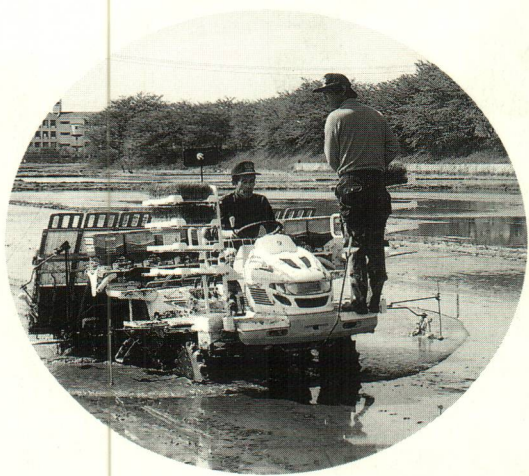
第41号

肥田町
まちづくり委員会
H18.7.10発行

圃場整備事業のスタートに合わせて、国の新しい農業政策の要件に沿った集落営農組織として「肥田町農業生産組合」の設立は、正しく「肥田の農地、農業は肥田で守ろう」の皆さんの熱い心と若い息吹きの結束そのものであり、そして地権者の皆さんの深いご理解ご協力をいただいたのスタートとなりました。

従来は、自分の家での農業は、まあ「親父の仕事」としてあまり進んでは手伝わていなかった人、また、自分の家は全部を大中さんに委託しており、全く自分から農業をしたことのなかったような次代を背負う若い人々が参加し、この度は進んで日々一生懸命に汗を流してくれました。何か清々しく、そして力強い始動に感激と感謝の気持ちでいっぱいです。

作業としては、3月から畦畔の撤去と整備に始まり、春の肥料撒き、荒掘から



援をよろしくお願い申し上げます。
尚、秋には生産組合が初めて収穫した美味しい飯米を皆さんの食卓へお届けできることを楽しみにしております。

(肥田町農業生産組合)

動き始めた肥田町農業生産組合



代かき、そして田植えと若きオペレーターから補助作業員の年輩諸兄の方々まで総延べ人数115名からの出役をいただき、文字通りの「集落ぐるみ農業」の意義の深さを感じ、全面が青田となつて「やった」という実感と、お互いが力を合わせれば出来る新鮮な感動と喜びを皆でわかち合った次第です。

何しろ初めての経験でもあり、大型機械の導入、作業上の心配もありました。不慣れもあってトラクター、田植え機のめり込みなど四苦八苦したことなども貴重な経験と受けとめ、次年度への教訓として活かしながら頑張つて参りたいと思います。今後共に皆様の一層のご支

主たる内容

生産組合の耕作面積は165反

出役延べ員数 オペレーター 45名

補助作業員 70名

作業日数 30日

町内飯米申し込み 約400俵

水管理、畦畔管理は、十数名の年配者の方に、誰は何処から何処までと区切って管理してもらっています。

出役参加者の言葉

60歳代 最初は心配したが、若い人の意気込みに感動した、良くやってくれました。

40歳代 大きな機械は、思うように作業が進められて気持ちが良い。

30歳代 年輩の人々と作業を通じていろいろと交流が深められて貴重な社会勉強が出来ました。

薩摩正平 組合長談

生産組合が、先ず未整備田からの耕作をすることとなり本当にやれるのか、オペレーター確保は可能か、皆さんに出役してもらえるのかと色々考えると実際、始動するまでは中々夜も寝られない日が続いたこともありましたが、しかしながら全面が青田になり「肥田の田は肥田で守ろう」の若い人も含め出役者皆さんの熱い意気込みを強く感じ大変に嬉しく、深く敬意と感謝に絶えません。またその間を無事故で終えられたことも皆さん相互の助け合い、安全意識の高さの賜物と感謝しています。

今後とも運営面をはじめ皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

肥田町農業生産組合
耕作・水・畦畔管理
オペレーター 補助作業員
出役者一覧

青木	薩摩	元持	元持	藤野	清水	中村	児玉	元持	大村	藤野	藤野	薩摩	鶴野	大家
祐樹	敬造	四清	隆郎	重司	重司	重司	重司	重司	重司	重司	重司	重司	重司	重司
西田	成宮	滝宮	鶴野	鶴野	辻野	吉岡	森岡	薩摩	薩摩	青木	薩摩	松村	松村	松村
幹雄	克政	政政	俊雄	喜八	久和	次郎	乃史	乃史	乃史	乃史	乃史	乃史	乃史	乃史
筒井	薩摩	鹿島	成宮	成宮	宮川	伊川	伊川	伊川	伊川	伊川	伊川	伊川	伊川	伊川
美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和	美和
子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子

平成18年6月

(順不同)

肥田城他遺跡試掘調査の作業に参加

そもそも埋蔵文化財は、その郷土の先人たちが歩いてきた独自の歴史を最も雄弁に語るもので、今日の我々がその歴史の足跡を手繰りながら、これからの未来を透視する大切な資産だとして活かされて来ています。

滋賀県は、特に母なる琵琶湖に恵まれて肥沃な土地や、昔からの交通、文化の交流の要衝として発展してきており、近くでは、これまでに琵琶湖開発事業に関連しては昭和52年以降で琵琶湖北東部の湖底、湖岸遺跡調査も行われてきています。

既にご存知の通り肥田町では、昭和62年(1987)に宇曾川災害復興助成事業に合わせて文化財保護のため、現地で保存できない遺跡を考古学的な手法で記録保存しようと発掘調査作業が行われ成果を見ています。肥田町史によれば、「この辺り肥田西遺跡では、弥生時代中期のものとき

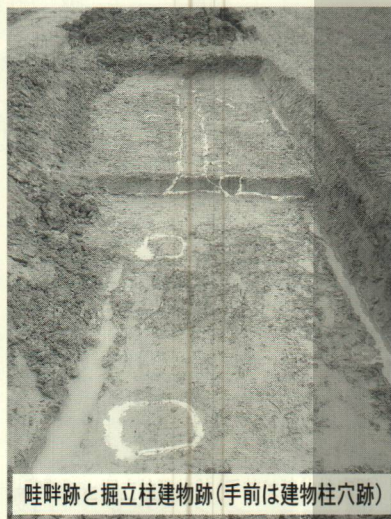
れた、食物を貯蔵するための壺、煮炊き用の甕、盛り付け用の高杯等が出土している。宇曾川のほとりの肥田の地には、弥生中期、今から2千年前頃から人間が住んでいたということになる。当時は高台に竪穴式住居を構えて住み、水が豊富で水はけの良い低地では米づくり、また近在の山林湖沼での狩猟も重要な生業となっていた。」

今回、肥田町では圃場整備事業の工事の着工前に、滋賀県から肥田城他遺跡の試掘調査の申し出があり、県文化財保護協会により5月初旬より6月中旬までの間、本格発掘調査に先立つ試掘調査の作業が行われ、町内から有志20余名の方が出役参加をされました。ご苦勞様でした。7月から本格的な発掘調査も実施されます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



測量風景

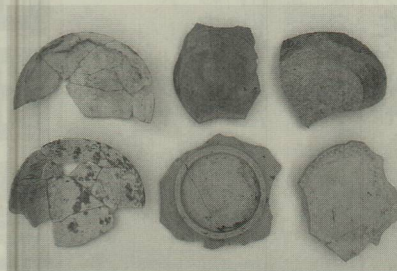
このたびの試掘調査の状況写真



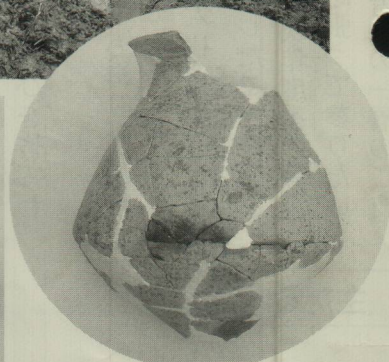
畦畔跡と掘立柱建物跡(手前は建物柱穴跡)



溝跡



遺物出土状況(土器)



遺物出土状況(弥生土器)



試掘調査風景

自治会活動風景



宇曾川堤防草刈り美化活動

を終え爽やかな風が吹き抜けている。ご苦勞様でした。6月4日

稲枝地区ビーチバレー大会風景 善戦健闘



6月18日肥田女子チーム善戦健闘
バレー並みの激しさに応援も力が入る

子ども会の夏休み催事の予定です。

町内の皆様のご支援をよろしくお願いします。

7月24日 座禅体験と彦根かるたの集い

協力 まちづくり委員会

7月26日 子ども会小旅行

8月19日 地蔵盆と夏祭り

8月20日 地蔵盆と物作り教室と城主千灯祭

協力 まちづくり委員会

8月25日 子どもと「ふれあいグラウンドゴルフの集い」

父兄の方もご参加を。場所 聖泉大 芝グラウンド

協力 まちづくり委員会、グラウンドゴルフあじさいクラブ



うどん、そば処

おすすめの店

「湖畔 湖岸店」 田附町

(湖岸道路で美浜館より少し北寄り) TEL 43-6918

元肥田町西町に住んでおられた中山直さんが開かれたお店。腕よし、味よし、温かいお店。定食もあります、是非お訪ねを。

